

！ 培養開始にあたっての注意 ！

RCB0558 : LLC は、通常の多くの細胞とは異なります。

この細胞は、細胞密度の管理が重要です。

* アンプル(チューブ)1本につき、2枚のφ60 mm dish 又は 2個の T25cm² flask で培養を開始してください。

* 細胞数をカウントしてから培養を開始する場合は、 5×10^5 cells/φ60mm dish or 25cm² flask を目安としてください。

* 培養開始の翌日には必ず細胞の状態を確認してください。

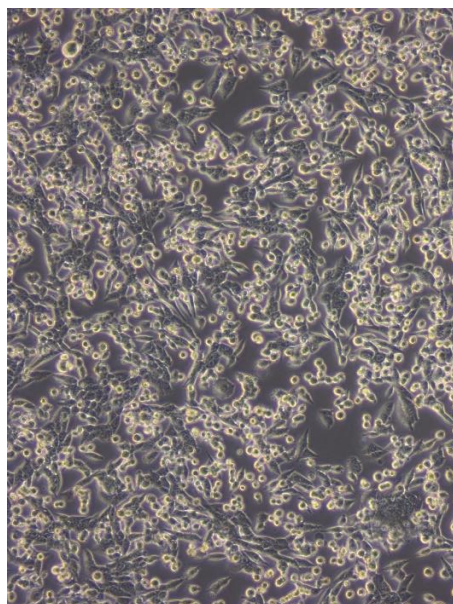
* 融解・継代時および継代後の細胞の状況について

(A)が状態の良い細胞です。細胞が過密(オーバーグロースの状態)になると、細胞が丸くなり、剥がれ始めます。培養容器底面に細胞が70-80%程度に増殖したら、4~8倍希釈で継代培養してください。

(B)はオーバーグロースの状態で、一部の細胞が塊になっており、剥がれ易い状態です。早めに継代を行ってください。回復可能です。

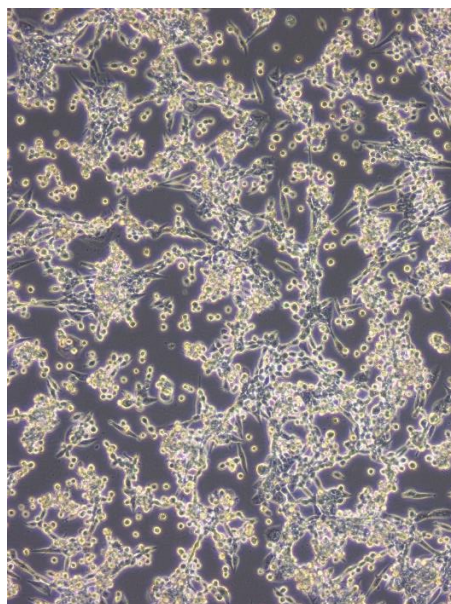
(C)は細胞密度を低くし過ぎてバイアビリティーが悪くなった状態です。一度このような状態になると細胞のバイアビリティーは回復しませんので、このような状態にしないように注意して下さい。

* 凍結保存する場合には、継代時と同じように細胞の状態をよく観察し、(A)のように状態の良い細胞を凍結保存するようにしてください。勢いよく増えている細胞(対数増殖期)の方が効率よく保存できます。



(A)良い状態

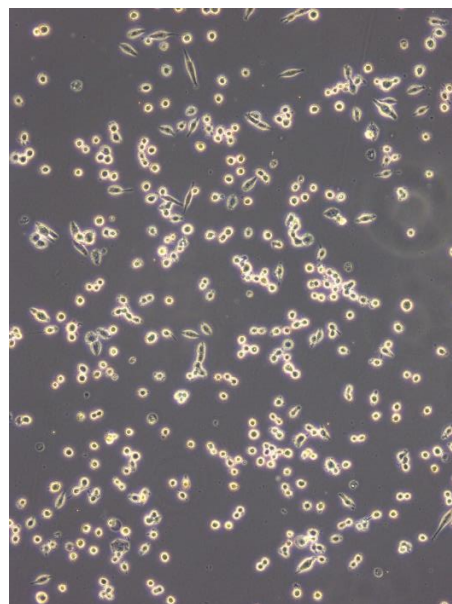
適度な密度でしっかり付着している



(B)オーバーグロース状態

細胞が丸くなり周囲が捲れた感じである

(このような状態では細胞密度が70%以下でも剥がれてくることがあるので、早めに継代することが望ましい)



(C)細胞密度が低すぎる状態

培養の開始にあたりましては、この点にご留意ください。

【お問い合わせ】 cellqa.brc@riken.jp